講演要旨　　 ↑ *2行空白12pt明朝(約13mm)*

上余白 28mm

右余白 18mm

左余白 18mm

空白 ↓

*14ptゴシック* →　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　講演要旨のフォーマットについて

空白 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ↓↑ *1行空白11pt明朝(約6.5mm)*

*11pt明朝 →* 　　　　　　　　　　　　行事委員会\*・編集委員会\*\*

空白　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ↓↑ *1行空白14pt明朝(約8.5mm)*

*14pt Century強調(Bold) →*　**Format of Abstract**

空白　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ↓↑ *1行空白11pt明朝(約6.5mm)*

*11pt Century →*　　　　 Event Committee\* and Editorial Committee\*\*

空白　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ↓↑ *1行空白11pt明朝(約6.5mm)*

*8pt明朝 →* 　　　\* 大阪市立大学理学部地球学教室　Department of Geosciences, Faculty of Science, Osaka University,

*Century* 　　　3-3-138 Sugimoto, Sumiyoshi-ku, Osaka 558-5858, Japan. E-mail: XXX@sci.xxx.ac.jp

\*\*奈良大学社会学部　Faculty of Social Research, Nara University, 1500 Misasagicho, Nara City, 631-

20mm 　　 8502, Japan. 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　20mm

空白　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ↓↑ *1行空白11pt明朝(約6.5mm)*

*9pt明朝 →* 　 キーワード：講演要旨，フォーマット，文字数，ページ数　　（← 5個以内）

*9pt Century→* 　**Key words :** Abstract, Format, Number of character, Number of page

空白　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ↑*2行空白11pt明朝(約11.5mm)*

空白　　　　　 ↓

１．はじめに

　2017年度第2回評議員会の決定にもとづき，2018年度の日本情報地質学会総会・講演会（GEOINFORUM-2018）から講演要旨は学会ホームページでの公開のみとなりました．講演要旨は投稿されたPDFファイルをホームページでの公開となります．カラーで投稿いただいて構いません。締め切りを厳守して下さい．

２．ページ

　ページはA4サイズでページ数は【2ページまで】とします．原稿へのページ番号は付けないで下さい（ただし，裏に鉛筆書きで順番を明記）．

　ページ数が多くなる場合，会誌「情報地球学」への投稿をお願いいたします．

　ページの余白設定は，上28mm，下20mm，右・左18mm，段組の間は6mmです（ヘッダ等は付けない）．

３．文字数・フォント等

**3.1　本文**

　本文は2段組で1段の1行は9pt明朝全角で26文字，行数は60行．行間隔は基本的に9ptの1行とする．アラビア数字は基本的に半角文字を使う．英数文字はCenturyを用いる．半角カタカナは用いない．句読点は「，」「．」を用いる．1ページ目は表題等を付け，2ページ目以降は一番上の行から利用する．最後のページは左右下部をそろえる．「１．はじめに」などの大見出しは全て全角，10.5ptゴシック．大見出しの前には１行開ける．「2.2　小見出し」は9pt明朝（強調）Boldで番号は半角．

**3.2　表題等**

　1ページ目の最初は以下の書式で作成して下さい．

　　　　＜2行空白12pt明朝（約13mm）＞

・タイトル（日本語）14ptゴシック中央

　　　　＜1行空白11pt明朝（約6.5mm）＞

・発表者名（日本語）11pt中央（＊は半角明朝の上付）

　　　　＜1行空白14pt明朝（約8.5mm）＞

・タイトル（英語）14pt Century強調（Bold）中央

　　　　＜1行空白11pt明朝（約6.5mm）＞

下余白 20mm

・発表者名（英語）11pt Century中央（＊半角明朝上付）

　　　　＜1行空白11pt明朝（約6.5mm）＞

・所属（20mm左右をあけ，8pt明朝半角の｢\*｣に続けて書く．日本語は8pt明朝，英語は8pt Century）．

　　　　＜1行空白11pt明朝（約6.5mm）＞

・日本語キーワード（20mm左右をあける「キーワード：」は9ptゴシック）キーワードは9pt明朝（5個以内）

・英語キーワード（20mm左右をあける「**Key words:**」は9pt Century強調（Bold））キーワードは9pt Century

　　　　＜2行空白11pt明朝（約11.5mm）＞

以下本文が2段組で続く．

４．図表

　図，表の番号は第１図，第１表のようにつける．

＜図と本文の間は１行空ける＞



　　　第１図　図・表の説明は8pt明朝（英語はCentury）．

５．文献（実際の文献には章番号は付けません）

　本文中での文献の引用は次のようにする．

（例）「Gill(1976)により，」「・・である（坂本，1992）．」

引用した文献は最後にまとめて以下の形式で付ける．

＜文献と本文の間は１行空ける＞

　　　　　　　　　　　　　文　　献(10.5ptゴシック，中央）

Gill, A.(1976)*Applied algebra for the computer sciences.*Prentice-Hall, Inc., 524p.

坂本正徳(1992)関係行列による層序の推定．情報地質,vol.3, no.2, pp.121-138.

　（各2行目以降は，全角１文字分（3.2mm）下げる）

６．著作権

　雑誌『情報地球学』に掲載された講演要旨の著作権（著作財産権，copyright）は日本情報地球学会に帰属するものとする．

７．　おわりに

　その他は雑誌「情報地球学」の形式に準拠して下さい．

段の間隔 6mm